

豪州留学で支援拠点

光星学院、現地に來春設置

八戸市の学校法人光星学院は来年4月、オーストラリアのシドニーに「オーストラリア国際教育センター」を新設する。同法人の

大学、高校などから現地の大学へ留学・進学を希望す

る学生や生徒を支援する。センターの海外設置はフィリピンに続き2カ所目。

14日に開かれた同法人の常任理事会で承認された。センターは同法人国際教育局(大谷真樹局長)の出先で、国際化戦略の拠点。新設するオーストラリアセンターは、同法人の八戸学院大学健康医療学部看護学科で学ぶ学生の国際看護師資格取得を目的とした現地留

学支援を主な目的とする。

大谷局長によると、医療現場の多国籍化が進み、国際看護師の資格を得て海外で活動するなどの道を探る学生は増えるとみられる。

このため欧米より門戸が広い豪州の大学などで学習を希望する学生らを支援する拠点を設けることにした。2020年には同センター支援で同学科の複数学生が留学する方向という。

大谷局長は取材に「国際看護師のほかにも、ラグビーなどさまざまな目的を持ち現地留学を考える学生たちを支援したい」と話している。

(若松清巳)